



# ふなばし

## 探訪手帖

～四季を彩る 文化財～

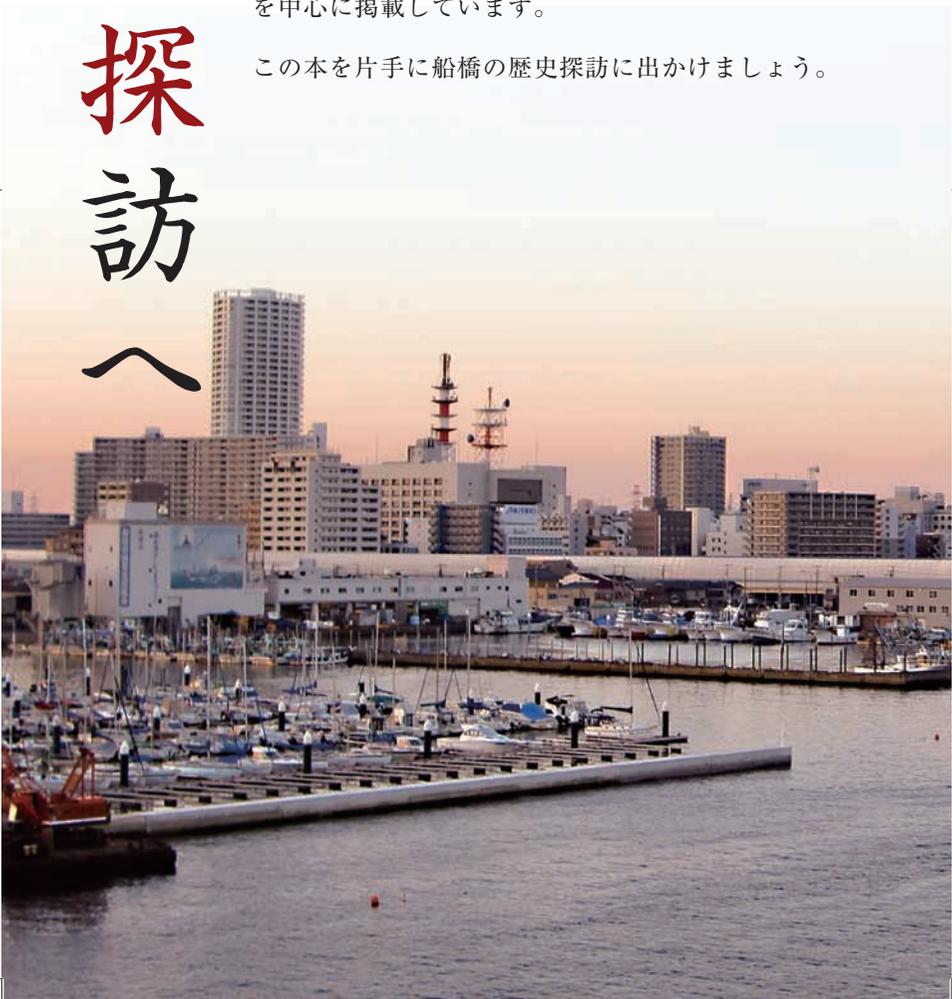


# 船橋歴史探訪へ

自然の恵みが豊かな船橋には早くから人が住み始め、旧石器時代から近世までの遺跡、平安時代末頃の作とされる仏像、江戸時代から続く神楽など、多くの文化財が今も残っています。

本書では、船橋市内で行われている行事・祭礼などの無形民俗文化財、建造物・彫刻などの有形文化財を中心に掲載しています。

この本を片手に船橋の歴史探訪に出かけましょう。



## 都市と自然が調和するまち

船橋市は昭和12年(1937)4月、当時東葛飾郡の内にあった船橋町、葛飾町、八栄村、法典村、塚田村の5つの町村が合併し、千葉県内で4番目の市として発足。その後、昭和28・29年(1953・1954)に二宮町と豊富村を合併して、今日の基礎ができました。

面積は85.64km<sup>2</sup>、人口は61万人を超え、首都に近く鉄道などの交通網が発達している船橋市。また市の内陸には美しい緑が、南部の東京湾には貴重な干潟「三番瀬」が広がるなど、都市と自然が調和したまちです。

